

超高速伝送装置 「SDI-Hyper」 2737B

～HD回線でSNG、4K/HD、ファイルの運用が可能～

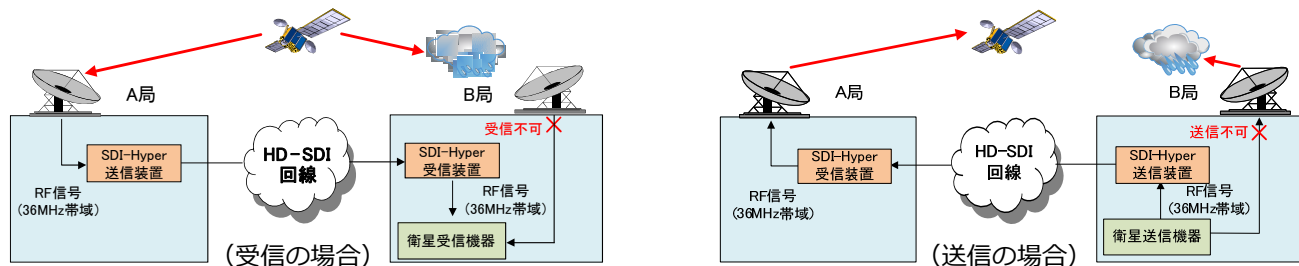
【概要】

HD-SDIの有効映像領域を活用し、衛星1トラポン分（36MHz帯域）のRF信号や4K/HD（圧縮）、ファイルデータをHD-SDIフォーマットに変換してリアルタイムに伝送します。

【特徴】

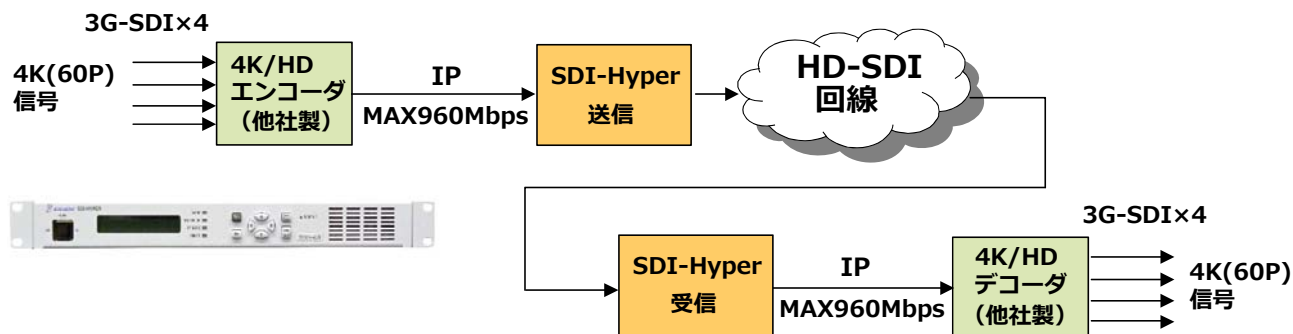
- ・既存のHD機器（DDA、MTXスイッチャ等）とHD回線を使い低コストで伝送します。
- ・約1Gbpsの超高速、かつ、エラーの無い伝送を実現します。
- ・SNG信号伝送では、映像音声だけでなく、制御信号や連絡音声（OW）も含めて、1トラポンを丸ごとリアルタイム伝送できます。
- ・4K/HD伝送では汎用コーデックと接続し、高品質、低遅延でリアルタイム伝送できます。
- ・送受切り替えによりSNG信号、4K/HD信号の相互伝送が可能です。
- ・ファイル伝送では、本製品とHD回線を使用し、高速ファイル伝送が可能です。
* 回線遅延を考慮しない場合、約900Mbps以上！

【SNGサイトダイバシティ運用例】 * 送受切替により伝送方向の切替可能



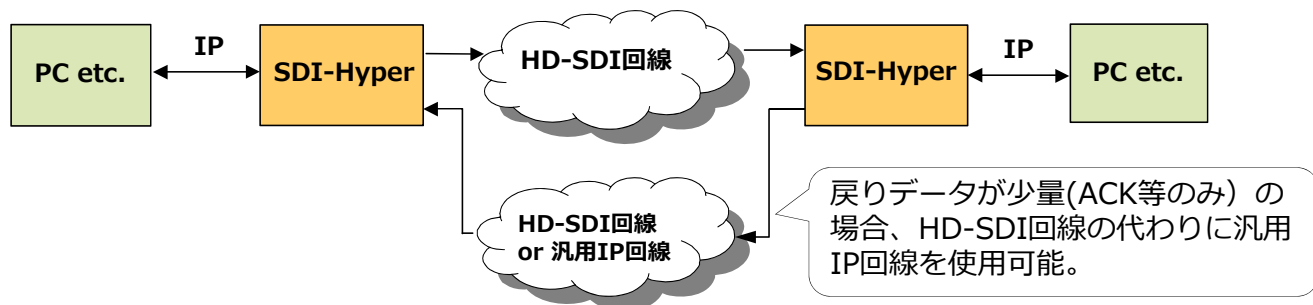
悪天候でも、別の放送局のアンテナを使って通常と変わらない運用が可能！

【4K/HD伝送・単方向モード運用例】 * 送受切替により伝送方向の切替可能



東京－大阪間の遠距離伝送実験にて「高品質・低遅延」な伝送を実証済み！

【ファイル伝送・双方向モード運用例】



【仕組み】

独自フォーマットで、有効映像領域に伝送データを重畳します。(特許出願中)



- ・約960Mbpsの高速伝送を実現！
- ・既存のHD-SDI伝送系を使用可能！



【仕様】

定格	内容	機能仕様	内容
SDI入出力	入力 BNC-R×1系統 (75Ω) 出力 BNC-R×1系統 (75Ω) HD-SDIに準拠 (1080/59.94i)	機能 (オプション選択による)	①RF信号のリアルタイム伝送 (単方向) ②IPデータ伝送 (単方向) ③IPデータ伝送 (双方向)
ETHERNET (データ用)	RJ-45×2系統 (MAIN/SUB) ・MAIN 主データ/送り側 ・SUB 副データ/戻り側 1000BASE-T,100BASE-TX,10BASE-T IPv4 UDP (単方向伝送) ※1	最高データレート (主データ)	960Mbps
ETHERNET (制御用)	RJ-45×1系統 100BASE-TX,10BASE-T Web server GUI(HTTP),SNMP v2c	送信/受信 切り替え機能	あり (単方向の場合)
RF入出力	入力 N-R×1系統 (50Ω) 出力 N-R×1系統 (50Ω) ・周波数 950MHz~1500MHz (Δ25kHz) ・帯域幅 6,8,12,20,24,30,36MHz (切替) ・レベル -60~0dBm	受信側マスター/スレーブ 切り替え機能	受信側が送信側に自動的に連動するか否かを 設定可能
寸法	(W)430 × (D)480 × (H)44 mm 突起物を除く	エラー検出機能	受信側にて可能 (CRCによる)
電源	単相交流 ~90-250V/100VA以下	スーパーインポーズ機能	HD-SDIの有効映像領域に16文字までユー ザー設定可能 (半角英数字)
		機器設定プリセット機能	機器設定を99個プリセット可能
		装置通過遅延	RF伝送時: 10ms以内 IPデータ伝送時: 1ms以内 (平均値)

※本製品は、2017年3月に正式販売を開始しました。

※1 双方向伝送の場合はプロトコルに関わらずトランスペアレントに伝送します。